



認知症を自分ごととして体験！認知症サポーター養成講座を開催 小学生対象は県内初！VRで認知症を疑似体験（11/8）

龍ケ崎市では、次代を担う子どもたちにお年寄りのことや「認知症」への理解を深めてもらうため、龍ケ崎市立大宮小学校（渡邊真史校長・児童数100人）の5年生24名・教員を対象に『認知症サポーター養成講座』を令和元年11月8日（金）に開催します。

当日は、認知症の方の視点をより理解しやすいよう、疑似体験が可能なバーチャルリアリティ(VR)を活用。なお、小学生対象の『認知症サポーター養成講座』でVRを活用するのは県内初。



▲ VR体験時の様子

さらに、認知症の症状をより理解しやすいよう、教材による説明だけでなく、市職員による「寸劇」を交え、認知症の方への接し方などを説明するなど工夫を凝らした内容となっています。

今回の講座では、認知症の方の視点に立った疑似体験や認知症の症状を寸劇などで分かりやすく伝えることで、子どもたちが自分事として認知症の方の気持ちを理解し、寄り添うきっかけとなることをねらいとしています。

なお、本市では、昨年度より現在の高齢化社会の現状や高齢者への接し方をはじめ、今後増えていくと予想される「認知症」に対する学習機会を創出させるため、市内の小・中学校や高校の児童・生徒に向けた講座を積極的に実施しています。

【バーチャルリアリティ(VR)とは】

専用のゴーグルをかけると目の前に映像が映し出され、その映像にまるで自分が入り込んだような感覚を体験できる技術です。

- | | |
|------|---|
| ■日時 | 令和元年11月8日(金)午後1時50分から午後3時25分まで |
| ■場所 | 龍ケ崎市立大宮小学校(所在地:龍ケ崎市大徳町4945) |
| ■主催 | 主催:龍ケ崎市
協力:茨城県作業療法士会・認知症疾患医療センター(医療法人社団八峰会 池田病院) |
| ■参加者 | 龍ケ崎市立大宮小学校5年生 生徒24名・教師数名(予定) |
| ■その他 | 当日の取材及び生徒・教師へのインタビュー可能です。 |
| ■資料 | 『認知症ってなあに?』認知症サポーター小学生養成講座副読本(講座配布用テキスト) |

担当課

龍ケ崎市 健康づくり推進部 健幸長寿課 地域包括支援センター
担当者:生井・山口(なまい・やまぐち)
連絡先:0297-62-8686(直通)